

平成12年度から 第1回 入試と改称 第2回

高校入試説明会開く

百五十校百六十名が出席

県内外の中学校から百五十校、百六十名の先生が出席して平成十二年度の高校内入試説明会が九月十六日に開かれました。これまでの推薦入試、一般入試が今回から第一回入試（十二月）第二回入試（一月）と名称が変更になりました。両方ともに入試内容は全く同じで、第一回入試までに準備が不十分だった人が第二回入試にも挑戦できるような受験機会の複数を確保はかっ



熱心にメモをとる入試説明会の中学校の先生方



発行所
宇都宮短期大学附属高校
編集委員会
宇都宮市陸町1番35号
印刷所
坂本共栄社印刷所

生活目標
一人は
一校を
代表する

優しい人材を育てたい

校長 須賀 淳

本校では夏休み中に、高



この日の説明会は、午後一時から須賀栄子記念講堂大ホールで普通科、生活教養科、情報商業科、調理科、音楽科の各生徒の体験発表や、ステージでのコンピュータ操作、コスチュームショーなど授業の一部の各種実技公開が行われたのち、会場を小ホールに移して入試内容の説明に入りました。

調理科生



てわかりやす

なこの日、先生方には生活教養科の皆さんが心をこめて作ったマロンケーキと藍染めのハンカチ（縫いしほりして益子町の二百年の伝統ある日下田組屋で染めたもの）をおみやげに差し上げて大へん好評でした。



書道の授業で袁道厚団長（左）も教壇に立つってのパフォーマンス

トピックス

一日体験学習



美しい学校案内に見入る一日体験学習の中学生

中国から 書画交流団

書の本場中国・浙江省から同省の桐郷市君陶芸術院芸術部長、袁道厚先生を団長とする五名の書画交流団が五月十七日、本校を見学に来りました。とくに一行は書道や篆刻の授業に関心をもち、袁団長は自ら教壇に立ち通訳をとおして中国の書の現況を話したり、皆さんの前で色紙に筆を振られたりのパフォーマンスもありました。

第一期生二二八名

那須大学 入学式行わる

各方面から期待されて開学した那須大学（須賀淳学

長）の開学式は五月十八日、同大学の須賀学園創立百周年記念講堂で盛大に行われました。

第一期生は中国、韓国、インド、モンゴルなどから留学生三十五名と、会社社長や市会議員など二十歳から五十五歳までの社会人二十五人も加わり多彩な学生が学んでいます。

なお那須大学は、校門を設けず、いつでも誰でも自由に入ることをモットーとして、広く施設設備を学生にとどけ、市民の皆さんに開放していることでも知られています。

阿部PTA 会長が再選

平成十一年度PTA総会は五月十五日記念講堂大ホールで開かれ、阿部正昭会長が再選されました。新役員は次のとおりです。（敬称略）

新生徒会長に 丹羽さん

平成十一年度の新生徒会長に普通科英語コースの丹羽悦子さん（三年十



長先生

開学式であいさつする須賀学

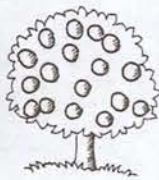
情報体験学習に強い関心

すばらしい施設を見学する

「立派な校舎だなあ」「設備もすごいぞ」「那須の山々がよく見えたよ」
那須大学のオープンキャンパスに参加した本校の生徒たちは、口々にこのように感想をもらっていました。同大学のオープンキャンパスは六月、七月、九月、十月と行われましたが、七月二十四日には、志望する本校の生徒や保護者の方々など六十名がバスで訪れました。須賀学長先生から大学の教育内容、設備、卒業後の進路などをお聞き、剣な質問が続きました。



那須大学のオープンキャンパスに本校生多数参加



▶須賀学長先生から那須大学の特色、進路などの説明を聞く。右端は一河秀洋副学長先生



▲まずは説明会場へ

▶須賀学長先生（左端）自らキャンパス内を案内してくださる



▲須賀学園の創立者、須賀栄子先生銅像台座に那須大学のNと未来をつなぐNEWのNを組み合わせたモニュメント



▲各種の機能的設備をもつ図書館ではコンピュータによる図書の整理法を聞く



▲明るく清潔で衛生的な学食でひと休み

▶パソコン室では体験学習に強い関心



▶有意義なオープンキャンパスの収穫を得て帰途につく



お年寄りに拡大鏡
ことしも生徒会では、敬老の日にお年寄りには便利な拡大鏡を贈りました。
対象になった七十歳以上の方は男子四百八十二名、女子七百二十一名の合計千二百三名で、最高齢者は三

室井さん(2・26)大いに歌う
「つなぐ緑 つくる緑 こころの緑」のテーマで第十七回全国都市緑化とちぎフェアが平成十二年九月から十一月まで栃木県総合運動公園と壬生総合公園をメイン会場として開かれます。
そのイメージソング「はなはなの歌」を音楽科二年二十六組の室井綾子さんが歌っています。その一年前祭・マロニエとちぎ緑化祭二〇〇〇が行われた九月六日に発表され、CDも出回っています。

学園リポート
年一組、篠原瑞季さんの曾祖母ハツさんの百一歳です。おめでとつがいます。

編集後記

「若鮎24号」を皆さまにお届けいたします。

第一面は、平成十二年度から従来の推薦入試（十二月、一般入試（二月）の名称を第一回入試、第二回入試と改称するというリニューアルをとり上げました。

須賀学園100周年 記念歌の歌詞募集

平成十二年に本学園は創立百周年を迎えます。このため、学園の一世帯を記念して、在学生、在校生の皆さんから広く記念歌の歌詞を募集しています。次の募集要項に基いて、ぜひ皆さんのすばらしい作品をお寄せください。

【内容】①本学園の百周年を讃えるもの。②題名は自由とし、必ずしも「記念」の語句が入らなくてもよい。

③末長く歌い継がれ、親しみの持たれるもの。④一番から三番まであり、親しみの持たれるもの。⑤「要項」①B4版四行の原稿用紙にワープロ可。②ルペン、あるいは使用のこと。③学年（中、高生は氏名（ふりがな）をふりがな）とする。④用紙が複数枚に1をつけて、開く。⑤作品は一人三首まで⑥先生方で組織する選考委員会に補作することがある。

【締め切り】平成十二年十二月二十日（月曜日）

【提出先】中、高生は各担任の先生、短大生は事務局。

【発表】平成十二年一月三十一日。

【表彰】最優秀賞一名、賞状と副賞（図書券三万円）▽優秀賞三名、賞状と副賞（図書券二万円）▽入賞若干名、記念品。